

1 研究主題

「地域に学ぶ、心豊かな生徒の育成」
～活用力を育成する指導法の工夫～

2 研究を進めるにあたり

本校では表現力を高める指導の工夫について研究実践を進め、一定の成果があったと思われるが、基礎学力調査や全国学力・学習状況調査の結果や学習状況を踏まえ、本校生徒の実態に基づき、基礎的な学力を定着させ、授業においてその力を活用し、確かな学力をつける指導の工夫について実践研究を進める。

(1) 研究仮説

仮説 授業において、思考する場や表現する場を設定し、それらの学習を繰り返すことで活用力が育成されるであろう。

(2) 実践内容と指導の実際

本研究は、基礎基本を押さえ、自ら学び、考える力に繋げるために、習得した知識技能を活用する力を育む事とし、そのために従来から取り組んできた「わかる授業」を再考し、指導過程について改善を図っている。

(3) 授業改善に向けた「わかる授業」の追求

- ① 学習規律（聞く・考える・書く・発表する）の徹底
- ② 課題を把握する場の工夫（プレートの利用）
- ③ 単元計画に基づいた効果的な「思考、判断、表現」する場の設定と工夫
- ④ 授業のまとめの場の工夫

＊ 基礎基本の定着と学習の充実を図るノート指導

- ① 主体的な学びのためのノートのあり方
- ② 学ぶ意欲を喚起するノート（教科）のあり方
- ③ 家庭学習の充実に向けた自学ノートのあり方

(4) 活用の場の設定

授業において活用の場を取り入れることで、課題に迫り、繰り返すことで活用する力の育成を目指す。